

解析学2 課題 (5月19日)

問題1 $a > 0, \gamma \in (0, 1)$ とし, 数列 $\{a_n\}$ を $a_n = a\gamma^n$ ($n \in \mathbb{N}$) により定めるとき, 基本列の定義に従って, $\{a_n\}$ が基本列であるか否か調べよ.

(解) 任意の $n, m \in \mathbb{N}$ に対して, $\ell = \min(n, m)$ とおくと, $n \geq \ell, m \geq \ell$ より

$$|a_n - a_m| = |a\gamma^\ell (\gamma^{n-\ell} - \gamma^{m-\ell})| \leq a\gamma^\ell (\gamma^{n-\ell} + \gamma^{m-\ell}) \leq 2a\gamma^\ell$$

となる. 任意の $\varepsilon > 0$ に対して,

$$2a\gamma^{n_0} < \varepsilon, \quad \text{つまり, } n_0 > \frac{\log \varepsilon - \log(2a)}{\log \gamma}$$

をみたすように $n_0 \in \mathbb{N}$ を取ると, すべての自然数 $n, m \geq n_0$ に対して

$$|a_n - a_m| \leq 2a\gamma^{\min(n, m)} \leq 2a\gamma^{n_0} < \varepsilon$$

が成り立つ. したがって, $\{a_n\}$ は基本列である. ■

問題2 数列 $\{a_n\}$ を $a_n = \sqrt{n}$ ($n \in \mathbb{N}$) により定義する. このとき, 命題

$$\forall \varepsilon > 0 \exists n_0 \in \mathbb{N} \forall n \in \mathbb{N} : n \geq n_0 \implies |a_{n+1} - a_n| < \varepsilon$$

が成り立つことを示せ. また, $\{a_n\}$ が基本列であるか否か調べよ.

(解) (前半): 任意に $\varepsilon > 0$ に対して, $n_0 \in \mathbb{N}$ を

$$n_0 > \frac{1}{4\varepsilon^2}$$

をみたすように取る. すべての自然数 $n \geq n_0$ に対して

$$|a_{n+1} - a_n| = \sqrt{n+1} - \sqrt{n} = \frac{1}{\sqrt{n+1} + \sqrt{n}} < \frac{1}{2\sqrt{n}} \leq \frac{1}{2\sqrt{n_0}} < \varepsilon$$

が成り立つ.

(後半): $\varepsilon = 1$ とし, すべての $n_0 \in \mathbb{N}$ に対して $n = 4n_0, m = n_0$ とおくと, $n, m \geq n_0$ であり,

$$|a_n - a_m| = \sqrt{4n_0} - \sqrt{n_0} = \sqrt{n_0} \geq 1 = \varepsilon$$

となる. つまり, 命題

$$\exists \varepsilon > 0 \forall n_0 \in \mathbb{N} \exists n, m \in \mathbb{N} : n, m \geq n_0 \text{ かつ } |a_n - a_m| \geq \varepsilon$$

が成り立つ. 上記は $\{a_n\}$ が基本列であることの否定命題であるから, $\{a_n\}$ は基本列ではない. ■